

2020年群馬県における
新型コロナウイルス(COVID19)による演劇
活動の
現状把握アンケート報告(サイト掲載用)

演劇プロデュースとろんぷ・るいゆ
主宰 中村ひろみ

2020年6月4日

調査背景

本調査は、新型コロナ感染症の拡大に伴う緊急事態宣言により、群馬県内の文化施設・稽古場等が使用できなくなったこと、また三密を避ける生活様式を求められたことに伴い、多くの演劇人並びに舞台表現者の活動状況を緊急調査したものです。調査の結果、多くの県内演劇人等が活動への支障、困難を抱えていることがわかりました。

そこで、群馬県に「現状報告」として提出します。加えて、いくつか支援策についてもお届けしますので、県庁内をご検討いただければ幸いです。

現状、群馬県内には「演劇連絡協議会」等がありませんので、前群馬県文化審議委員の中村ひろみ(演劇プロデュースとろんぶ・るいゆ)が発起人となり、5人の賛同人とともにアンケートの実施、現状報告の作成を行いました。

また、ほかの表現活動分野における調査もないようだったので、回答数は多くありませんが、舞台表現を中心に演劇人以外の表現活動者からの現状報告もさせていただきます。

賛同人 生方保光(劇団ザ・マルク・シアター)

加藤真史(演劇ノ微熱少年)

郡司厚太(a/r/t/s Lab)

「サイトぐんま演劇商店街」鳴海琢元、木田恭平

調査背景

<アンケート概要>

対象:群馬県内を拠点に活動する演劇人並びに舞台表現者

方法:インターネット調査

(回答数:107件、有効回答数:103件)

期間:2020年4月27日(月) – 5月6日(水)

告知方法:Facebook、LINE、Twitter等を通じたクチコミ

調査背景

- ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発動により。多くの県内演劇人並びに舞台表現者の活動が困難となっています。
- ・ 2月26日に政府から大規模なスポーツ・文化イベントの自粛要請が出てから、4月7日の改正新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条第1項の規定に基づく、緊急事態宣言発出含め、2か月強、公共施設の利用が禁止または制限される状況が続いていました。
- ・ 群馬県内でも、多くの「生の舞台」が「日常的」に行われていることは、多くの県民に意識されていません
- ・ 群馬県内においては、職業的実演芸術家並びに非職業的実演芸術家によって、日常的な「舞台芸術の多様性」が担保されています。その両方の活動が困難になっていることは、県民にとっても文化的な生活を享受する機会の損失となっています。

調査背景 ぐんまは「芝居の國」である

- ・ 日本屈指の農村歌舞伎舞台の密集地
宝暦年間にはじまる横室歌舞伎(江戸期の舞台衣装を保存)、
文化文政期創建の上三原田歌舞伎舞台(世界でも珍しい舞台
機構)は日本の農村舞台研究においても二大巨頭
- ・ 戦前戦後、東京並びに群馬で活躍した劇団ホーポロ座落合義雄氏の存在
- ・ 昭和58年あかぎ国体における文化プログラムを起源に多くの県内劇団発足

調査背景 ぐんまは「芝居の國」である

- ・ 日本で最初の地方演劇祭

昭和61年第1回前橋演劇祭—首都圏のプロ劇団と地域演劇人の融合

- ・ 高校演劇コンクール全国大会(毎年国内から約12団体)に出場する多くの強豪校 共愛学園高校、新島学園高校、県立前橋南高校、県立伊勢崎清明高校 ほか
- ・ 2つのプロ劇団、1つのプロ人形劇団を含め県内には50近い劇団並びに演劇ユニット 毎週末どこかで演劇公演が行われている計算／劇場での公演から劇場ではない空間での公演、ウエルメイド芝居からアーティスティックな実験演劇まで多種多様

SUMMARY

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に伴う緊急事態宣言を受けて、群馬県における演劇等実演芸術の活動にどのような影響が出ているかを把握するためアンケート調査を実施した。

呼びかけは賛同者による個別の呼びかけ及びSNSによる情報発信によった。

回答はWEBアンケートのフォームによる入力。

期間は2020年4月27日より5月6日 有効回答数は103件であった。

2020 年群馬県における新型コロナウイルス(COVID19)による演劇活動の現状把握アンケート

2020年4月26日

中村ひろみ（演劇プロデュースとろんぶ・るいわ）

生方保光（劇団ザ・マルク・シアター）

加藤真史（演劇ノ微熱少年）

都司厚太（a/r/t/s Lab）

群馬県を拠点に演劇活動を展開する皆様の日頃の奮闘に敬意を表します。さて、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的感染拡大によって、国内外問わず様々な社会活動が制限され、日本においては、政

府による緊急事態宣言がおられる前から、公其施設の使用が禁止され、他の文化芸術分野とともに演劇界でも、公演の延期・中止から活動場所の制約など様々な影響が出ています。

こうした中で、群馬県内の特に舞台表現においては、プロ・アマ問わず、群馬の表現者の生み出す作品が、その「表現の多様性」を担保しています。また、群馬県は大都市圏に近接していることなどから、今後さらに感染の影響拡大が危惧され、県内の演劇や表現活動も同様に大きな影響を受けていることが懸念されます。

そこで、みなさんの現状をお聞かせいただき、実態をまとめて、行政やメディアに情報提供するために、以下のアンケートにご協力ください。

集計結果は、中村が調査責任者として、現状報告として群馬県に提出し、県内演劇ポータルサイト「ぐんま演劇商店街」<https://gungeki.com/>に掲載し公開いたします。
設問は全7問で、回答に要する時間は3～5分程度です。よろしくお願ひいたします。

本アンケートは前記の目的以外での使用はいたしません。回答者の個人情報は集計後、消去いたします。

回答期限：2020/5/6 (水)
設問数：7問 回答時間：約3～5分

問い合わせ先：
演劇／微熱少年
engekibinetushounen@gmail.com
090-4365-8096

Q1. あなたの演劇活動は新型コロナウイルス(COVID19)の影響を受けていますか? *

- はい →Q2,Q3へ
 いいえ →Q4.へ

Q2. Q1で「はい」と答えた方、どのような影響を受けていますか?(複数回答可) 【共通項目】

- 公演を自粛した
 公演を延期した
 会場の使用が出来なくなるなどの不可抗力で公演が中止になった
 会場の使用が出来なくなるなどの不可抗力で公演が延期になった
 積古場所や会合を持てる場所が無くなった
 その他

アンケート集計概況1

- ・群馬県内には50近い劇団や演劇ユニット(うちプロ劇団3、プロ人形劇団1)※
- ・舞台の裏方を支えるプロスタッフ
財団職員／専門会社／フリーランス(県内ではいちばん人数が多い)
- ・回答中97.1%(97人)が影響をうけていると回答
- ・影響・会場が使えなくなることによる公演中止・延期
- ・影響・会場が使えなくなることによる稽古・打ち合わせの中止
- ・延期の場合、多くが1年以上もしくは未定
- ・出演料・キャンセル料など予定収入がなくなった人41.4%(24人)
- ・予定収入がなくなり固定費が赤字になった主催者・代表者42.4%(14人)
- ・現在の活動は、個人的な練習・研鑽6割／オンラインを活用した演劇活動3割／活動はしていない2割
- ・最も多い赤字額は50万円。200～500万円の個人(団体)も

※演劇は收支構造上赤字経営となるため、プロとアマチュアの表象的分離は困難である。

アンケート集計概況2

- ・回答者による「望ましい支援」の在り方について

演劇祭の開催

仕込みから本番まで会場の無料使用

公的施設へのチラシやポスター配布等宣伝協力 など

ex.ぐんま演劇祭

→県域を網羅したフリンジ型の演劇祭を想定

県立施設などを使用したメイン企画とフリンジ参加

※県担当者への説明では「文化庁による芸術祭的な自主参加も認める演劇祭」と説明

振替公演の支援

地域貢献や新たな表現に対する支援

アンケート集計概況2

- ・回答者による「望ましい支援」の在り方について

オンラインでの演劇活動の技術・機会の提供

演技やコミュニケーション、音響・照明の技術など、
県民へのオンラインによる学びの提供

ex.バーチャルぐんま県民劇場構想(案)

ぐんまの舞台表現者による動画配信のプラットフォーム
演劇、音楽、映像、朗読、読み聞かせ、パフォーマンスetc...

世界への配信

教育や学びとの連携

※県担当者との意見交換では県庁スタジオの利用や
県YouTubeチャンネルへのコンテンツ提供というイメージ共有

アンケート集計概況2

- ・回答者による「望ましい支援」の在り方について

支出固定費(会場費)の保証／支出固定費(宣伝費)の保証

他地域との地域間連携での公演支援

プロの裏方スタッフへの補償

医学的エビデンスを重視した自粛の緩和

非職業的実演芸術家の多い実状に合わせた文化保護政策を

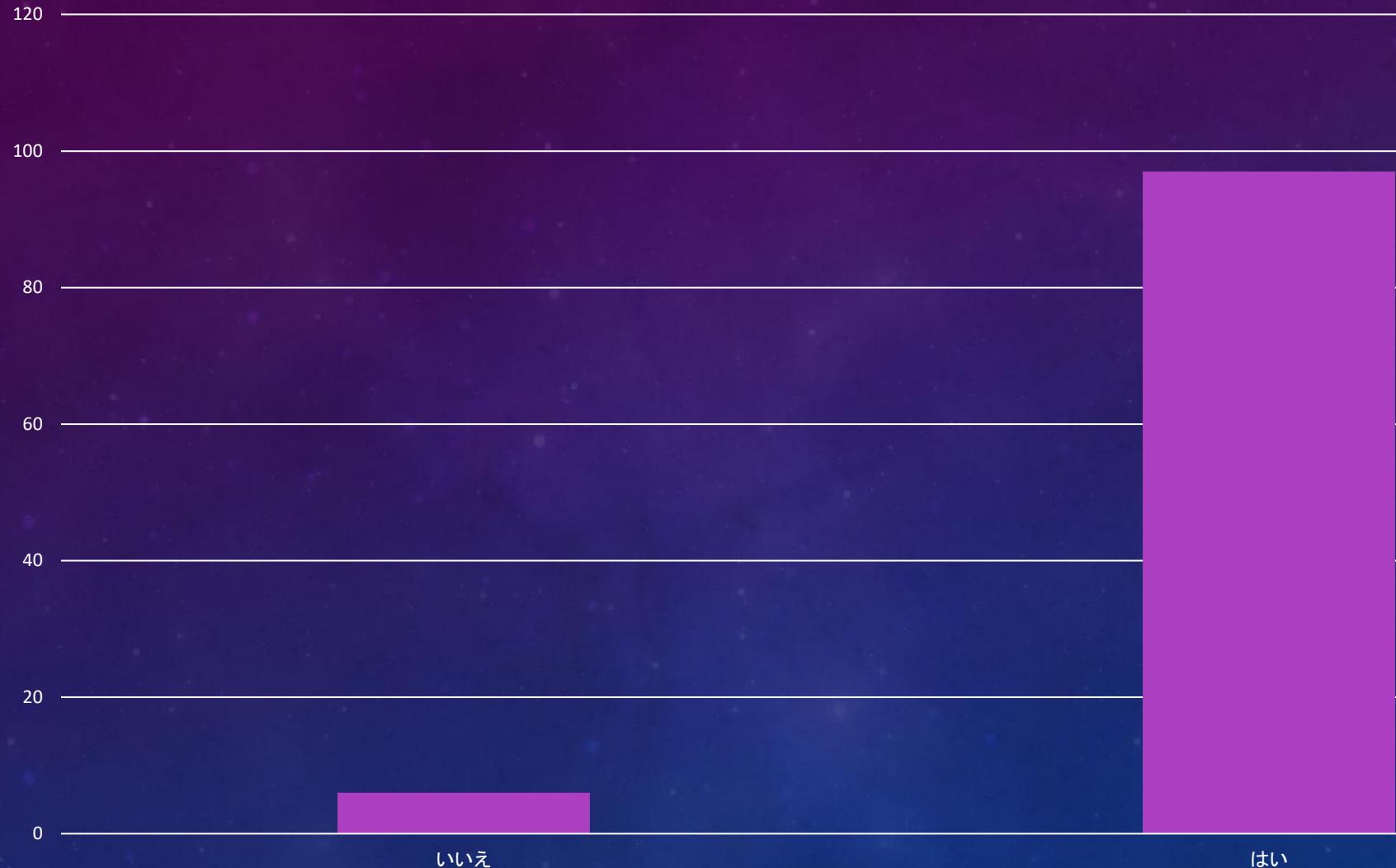
子どもや青少年に向けての芸術活動への支援

アンケート詳細

Q1. あなたの演劇活動は新型コロナウイルス(COVID19)の影響を受けていますか?

回答数の97.1%(97人)が
影響を受けていると答えました

Q1. あなたの演劇活動は新型コロナウイルス(COVID19)の影響を受けていますか?



有効回答数 103 はい 97 いいえ 6

Q2. Q1.で「はい」と答えた方、どのような影響を受けていますか?(複数回答可)【共通項目】

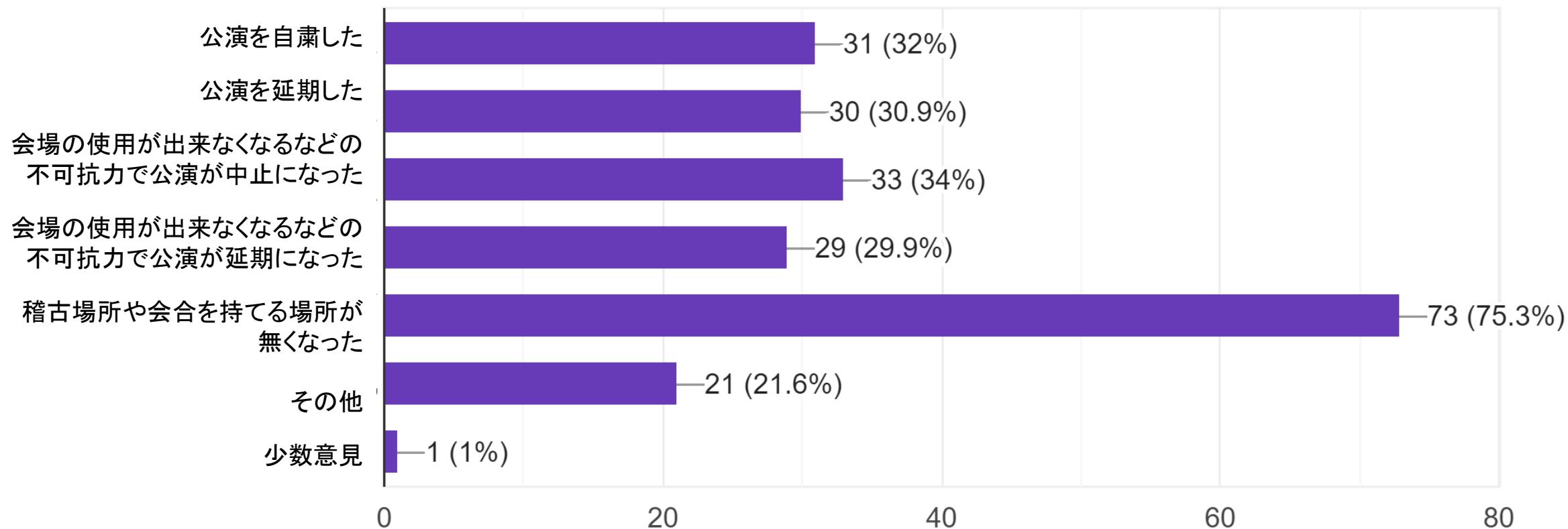
1位 稽古場所や会合を持つてゐる場所が
無くなつた (75.3% 73人)

2位 会場の使用が出来なくなるなどの
不可抗力で公演が中止になつた
(34% 33人)

3位 公演を自粛した (32% 31人)

Q2. Q1で「はい」と答えた方、どのような影響を受けていますか?(複数回答可)【共通項目】

97 件の回答

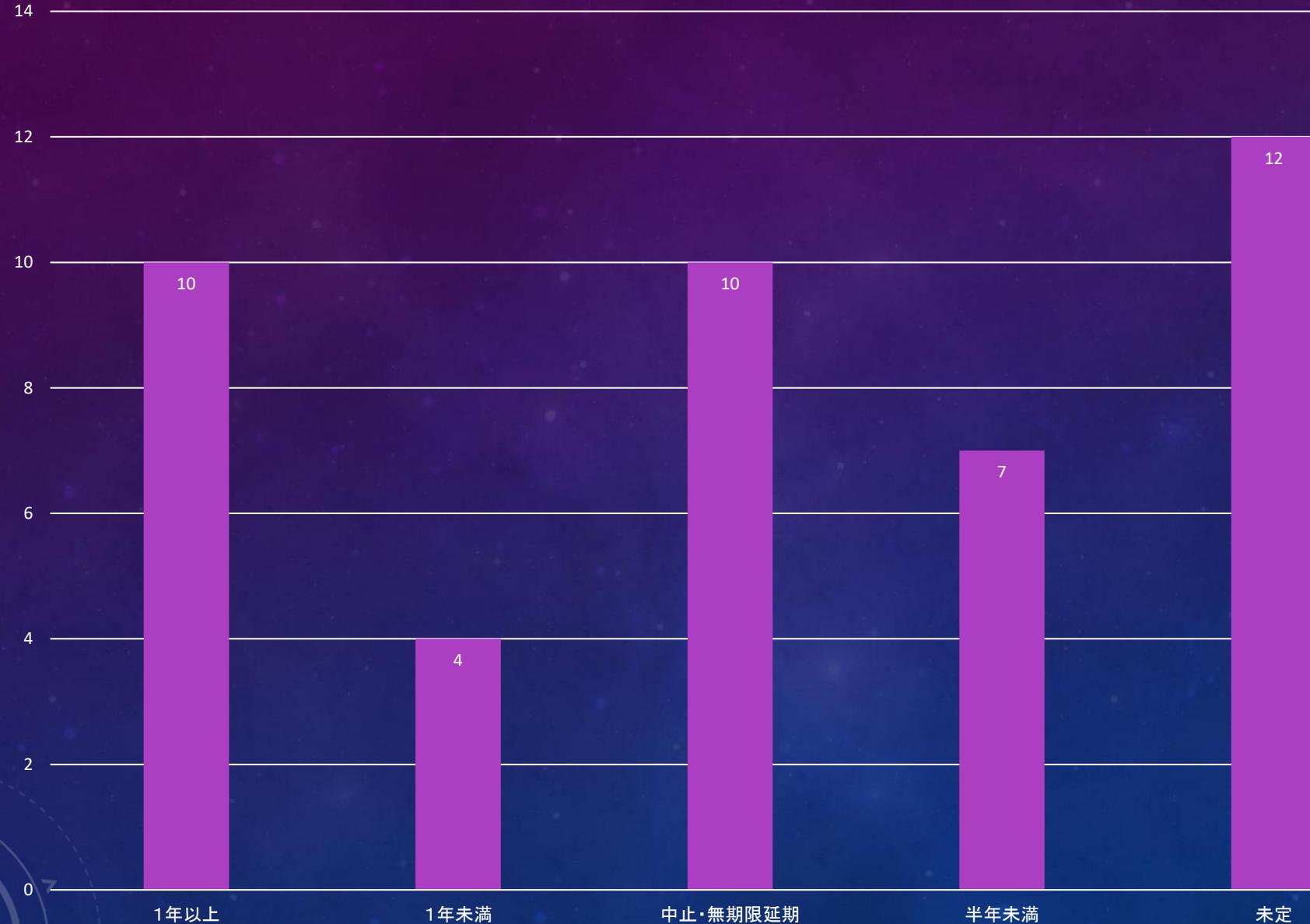


【「公演を延期した」・「会場の使用が出来なくなるなどの不可抗力で公演が延期になった」とお答えの方】差し支えなければ、どれくらいの期間の延期ですか？

演劇は大人数が参加するゆえのスケジュール調整と、脚本制作・会場おさえ・大道具や音響・照明のプランニング等で、長期にわたる準備が必要なため、一度、延期になると、その公演日の移動には大きな負荷がかかります。

- 1位 未定(12.8% 12人)
- 2位 1年以上(10.6% 10人)
- 2位 中止・無期限延期(10.6% 10人)

【「公演を延期した」・「会場の使用が出来なくなるなどの不可抗力で公演が延期になった」とお答えの方】差し支えなければ、どれくらいの期間の延期ですか？



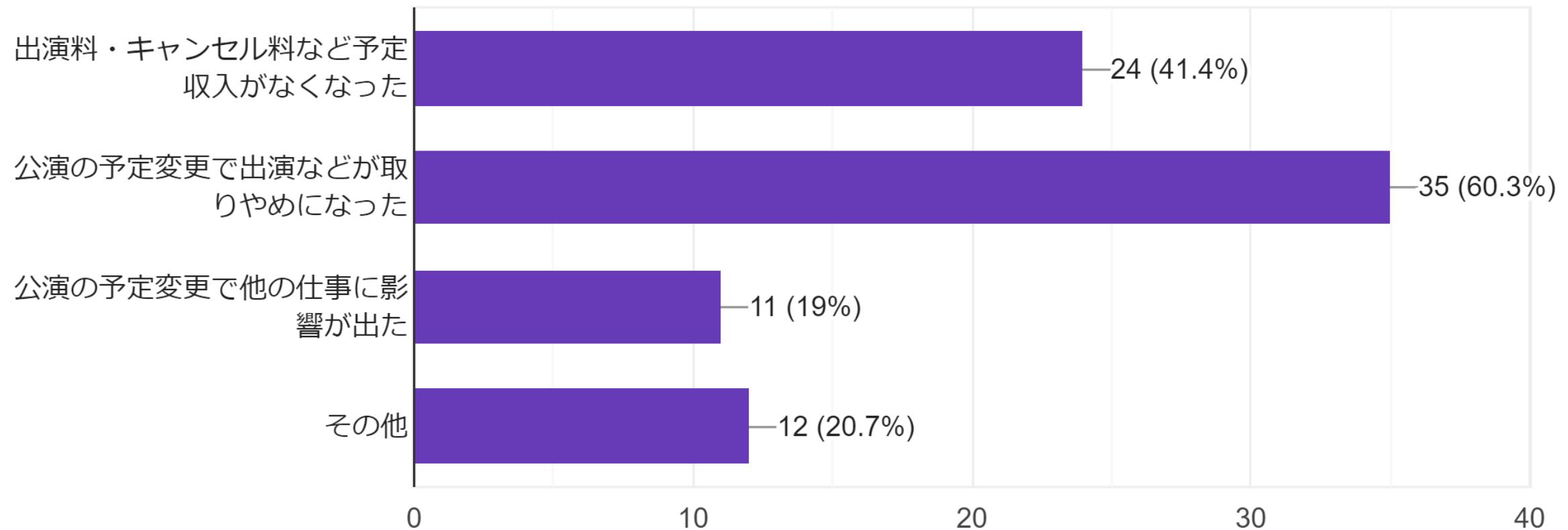
【出演者・技術スタッフの方お答えください】どのような影響を受けていますか？

出演料・キャンセル料など予定収入がなくなつた人が41.4%（24人）います。

公演の予定変更で出演などが取りやめになった人は60.3%（35人）です。

【出演者・技術スタッフの方お答えください】 どのような影響を受けていますか？

58 件の回答



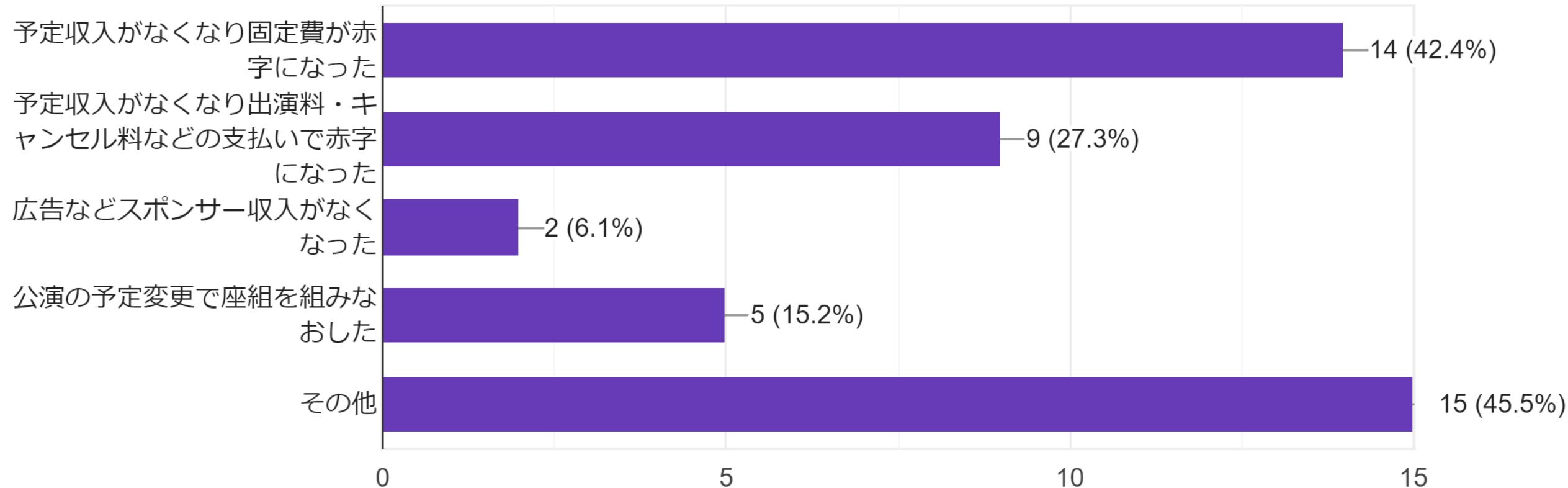
【主催者・劇団など代表者の方お答えください】どのような影響を受けていますか？

予定収入がなくなり固定費が赤字になった主催者・代表者が42.4%（14人）います。

予定収入がなくなり出演料・キャンセル料などの支払いも赤字になった主催者・代表者が27.3%（9人）います。

【主催者・劇団など代表者の方お答えください】 どのような影響を受けていますか？

33 件の回答



【全員がお答えください】影響を受けた後、どのような活動をしていますか？

集団性が重んじられる演劇活動では、その特徴を生かすためには、現状「オンライン」を活用するしかありません。合わせて、来たる日に備えての「個人的」な練習・研鑽が多くなります。同時に「活動していない」と答えた人も2割いることは演劇活動の難しさを物語っています。

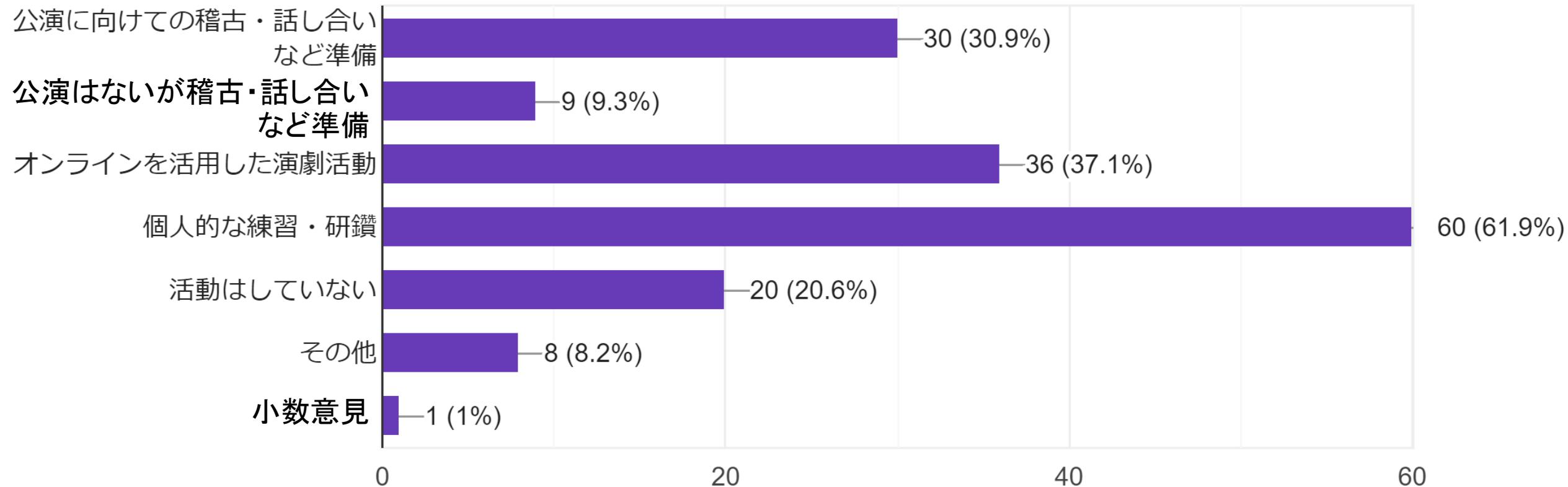
1位 個人的な練習・研鑽(61.9% 60人)

2位 オンラインを活用した演劇活動
(37.1% 36人)

3位 活動はしていない(20.6% 20人)

【全員がお答えください】影響を受けた後、どのような活動をしていますか？

97 件の回答

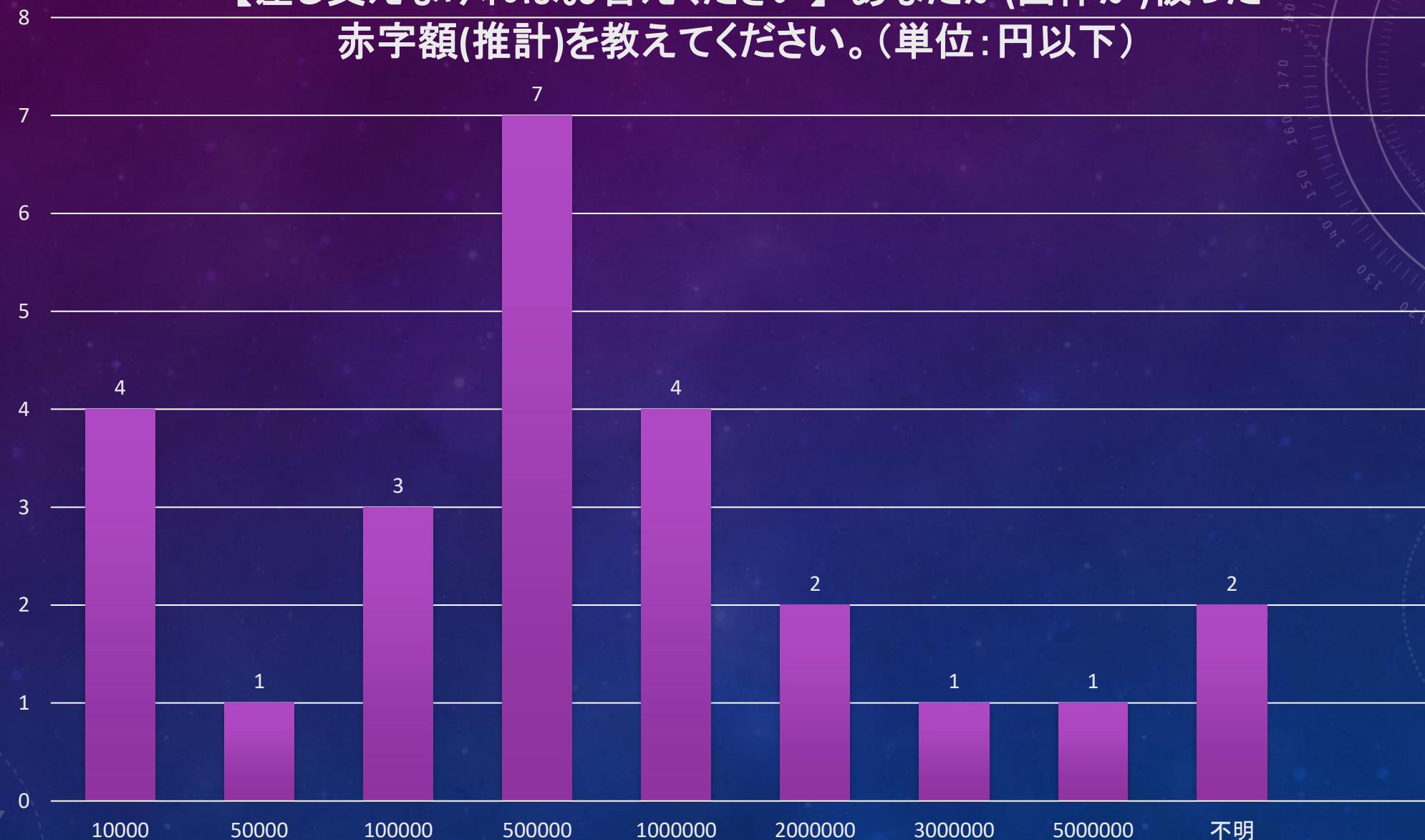


【差し支えなければお答えください】あなたが(団体が)被った赤字額(推計)を教えてください。

演劇活動では、特に公演の場合、プロ・アマに限らず、1年から数年の準備期間を要し、その間に、脚本用取材費・執筆料、会場費、大道具・音響・照明プランニングや製作、宣伝費(チラシ・ポスター制作費や印刷費)を公演前に支払うため、今回の場合、団体によっては200万円から500万円の赤字を抱えています。

- 1位 50万円(7.4% 7人)
- 2位 100万円(4.3% 4人)
- 2位 1万円(4.3% 4人)

【差し支えなければお答えください】あなたが(団体が)被った
赤字額(推計)を教えてください。(単位:円以下)



Q3. Q1.で「影響があった」と答えた方、この状況に対して行政・企業・個人等から
どのようなサポートがあつたらいいと思われますか？ 94件の回答

1位 振替公演開催の支援(57.4% 54人)

2位 支出固定費(会場費)の保証(28.7% 27人)※1

2位 オンラインでの演劇活動の技術・機会の提供(28.7% 27人)

3位 他地域との地域間連携での公演支援(24.5% 23人)※2

※1 群馬県における上演回場は多くの場合、公共施設を使用していることによる減免措置

※2 豊岡市、鳥取県などが打ち出した演劇祭のプリンジ参加枠など(添付資料参照)

Q3. Q1.で「影響があった」と答えた方、この状況に対して行政・企業・個人等から
どのようなサポートがあつたらいいと思われますか？

4位 支出固定費(宣伝費)の保証(23.4% 22人)

5位 支出固定費(出演料・キャンセル料など)
の保証(21.3% 20人)

6位 予定収入の100%の保証(20.2% 19人)

Q4. Q1.で「影響がなかった」と答えた方、この状況に対して行政・企業・個人等からどのようなサポートがあつたらいいと思われますか？ 14件の回答

1位 振替公演開催の支援 (57.1% 8人)

1位 支出固定費(会場費)の保証 (57.1% 8人)

3位 支出固定費(セット・大道具)の保証
(50% 7人)

4位 予定収入の100%の保証 (28.6% 4人)

Q3. Q1.で「影響がなかった」と答えた方、この状況に対して行政・企業・個人等からどのようなサポートがあつたらいいと思われますか？

4位 支出固定費(宣伝費)の保証(28.6% 4人)

4位 オンラインでの演劇活動の技術・機会の提供(28.6% 4人)

Q3. Q4. この状況に対して行政・企業・個人等からどのようなサポートがあつたらいいと思われますか？ 自由回答より

今後の、地域貢献や新たな表現に対する支援を

今後、地域に貢献できる作品や、新しい表現にチャレンジしている作品が公演される場合、支援いただけないとありがたい。(ストレートプレイ, 朗読, ワークショップ、セミナー)○

演技やコミュニケーション、音響・照明の技術など、県民へのオンラインによる学びの提供

現在、日本の学校教育には「演劇」の授業がありませんが、メンバーの中には、演技やコミュニケーション、音響・照明の技術など、学びの機会を作れるメンバーが大勢います。オンラインを活用して、自宅にいる子どもや大人のための学びの機会の提供の支援などもあるといいです。(ストレートプレイ, 朗読, ワークショップ、セミナー)○

本職・家業の経済的な公的補償を

身も蓋もない話ですが、公演延期による赤字よりも、本職・家業の経済的被害の方が大きい者もいるので公的補償はまずそちらからですかね。アマチュア劇団ゆえ実生活が壊れるとどうにもならないです。作演出としては、延期後のキャスト問題等公的サポートではどうにもならない次元のダメージを感じています。(ストレートプレイ)○

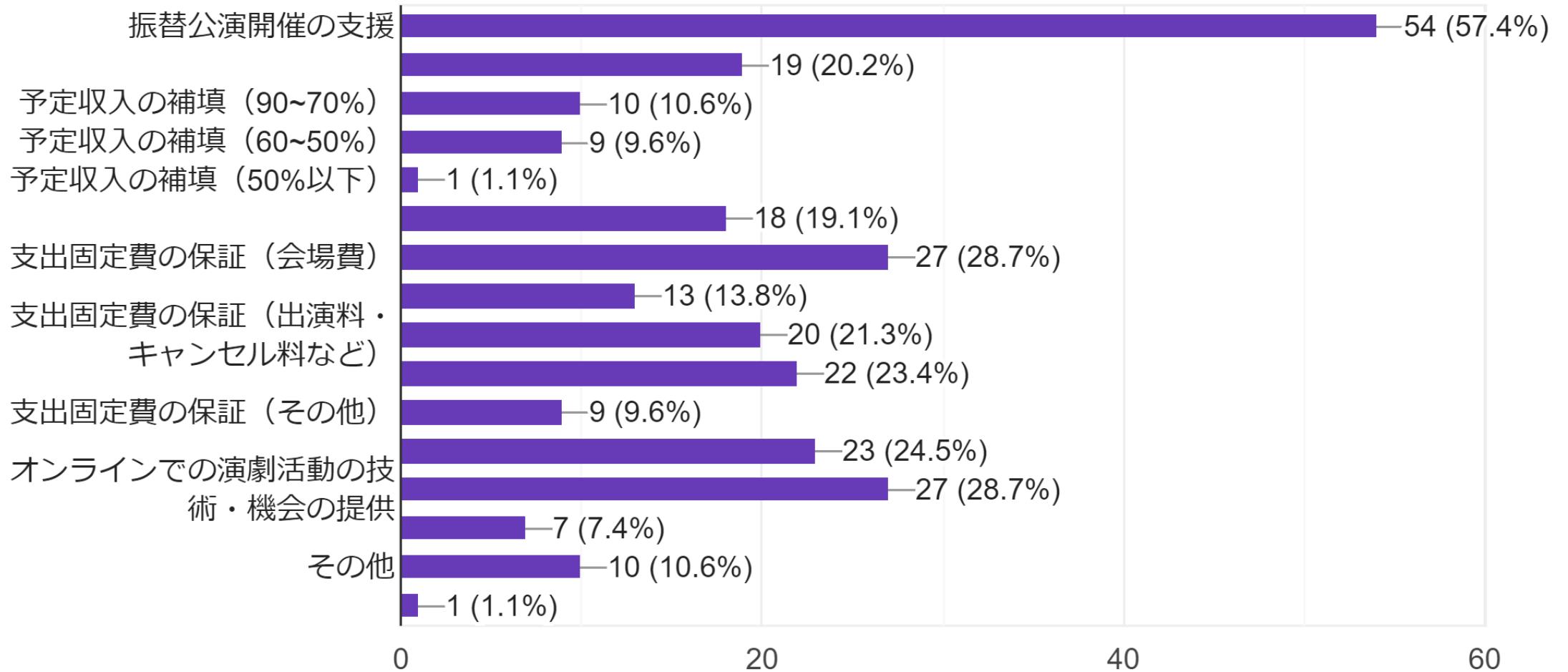
新規公演の宣伝費の支援

追加公演含め、自粛緩和後の公演の宣伝費を支援いただきたい。(演劇,パフォーマンス)○

Q3.

Q1で「はい」と答えた方、この状況に対して行...のようなサポートがあつたらいいと思われますか？

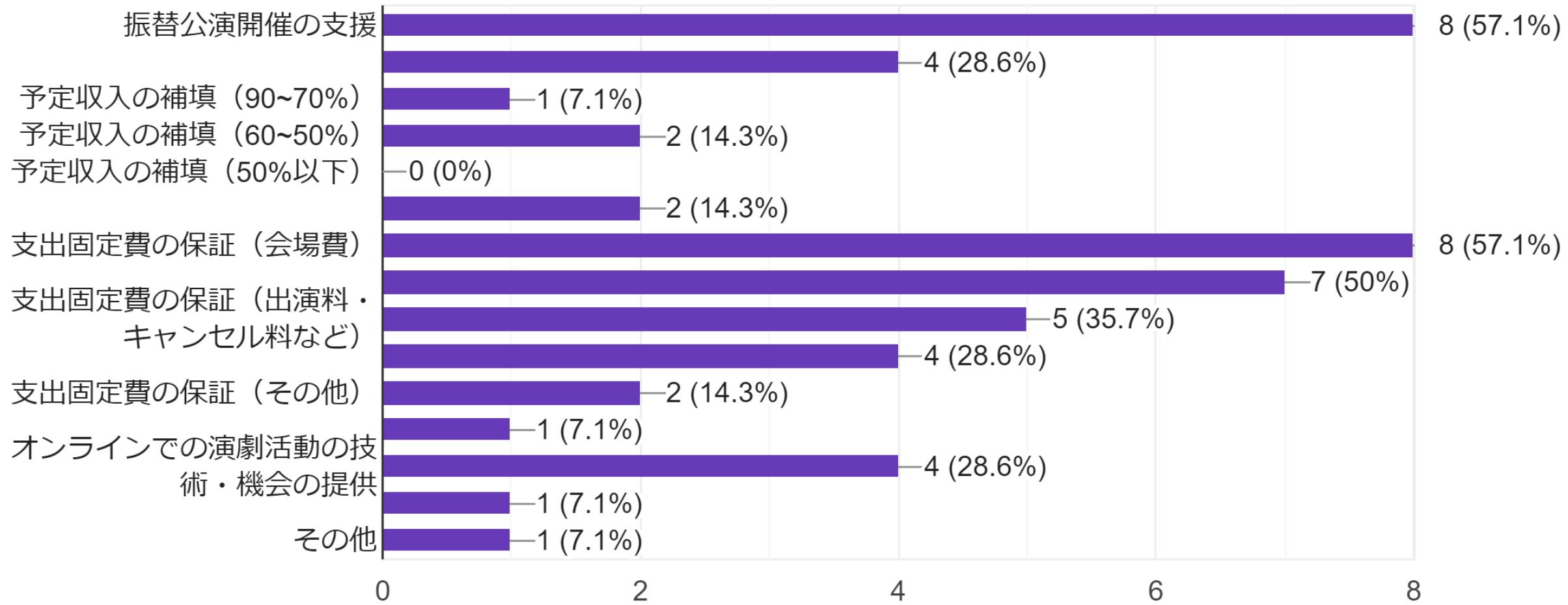
94 件の回答



Q4.

Q1で「いいえ」と答えた方、現状直接の影響を...のようなサポートがあつたらいいと思われますか？

14 件の回答



Q5. 今後、今回のように不可抗力で演劇活動が影響を受けた場合の支援について、ご意見があればお聞かせください。

群馬県内舞台関係の主力スタッフの多くはフリーランス

群馬県内の場合は、裏方スタッフはフリーランスの割合が高くなっています。県内でフリーランスで動く場合は、公演全体の数は少ないので、逆に能力が高くないとフリーの技術スタッフにはなれません。その人たちは、現状、別のアルバイトで生計を立てざるを得なくなっています。そんな彼ら彼女らがいてくれないと、公演の中止・延期にあたっては、生業としている裏方スタッフへの補償は、あればと希望します。
(ストレートプレイ、朗読、ワークショップ、セミナー)○

保険制度、少人数屋内施設情報

保険を発足する、小人数ならば貸し出せる屋内施設などの情報発信○

演劇祭の開催

演劇祭のような支援をしていただけするとありがたいです。(仕込みから本番まで会場を無料で使わせていただけ、公の施設にチラシやポスターを配布し宣伝の協力をしていただけるなど)(ストレートプレイ)○

公演中止・延期の際の補償

行政は、該当団体からの要請・要望があった場合、公演を中止または延期する際にかかる、会場及び稽古場のキャンセル料の一部(公的施設であれば全額)負担をしてもらえると、大変ありがたい。(ストレートプレイ、朗読、落語とのコラボなど)○

文化事業への支援・協力強化

コロナ終息後の文化事業への支援・協力の強化（ストレートプレイ）○

舞台関係の専門職への休業補償、就業支援、ライブハウスへの優先補償

地震などのように場所が復旧すれば（もしくは代替の場所があれば）人が集まれるケースと違い、今回は人が集まること自体が感染原因になるため、公演やライブなどを問題なく開催できるまでかなり時間がかかると予想される。そのため専門職として舞台・公演に関わる人への休業補償や、短期・長期の就業支援（本職に戻れるまでの期間の収入支援）も必要と思う。また、名指しで休業要請を出されるライブハウスなどへは、ある程度優先的に速やかな補償があってもいいと思う。（朗読、演奏、リーディングシアター）○

活動内容の紹介の場

活動内容の紹介の場が欲しいです。（ストレートプレイ）○

Q6.今回の事態が収束した後に向けて準備したり考えたりしていることがあればお聞かせください。

演者3人＋観客5人の小さな演劇からスタート

自粛の緩和がはじまった場合、ソーシャルディスタンスを守って、スペース内の換気・消毒に心がけることで、演者3人まで、観客5人まで等の野外や小さな演目からの再開となるのではないかと予測しています(はざれたらごめんなさい)。その時、なにができるかを考えています。そこまでの再開はできても、しばらくはそこまでが限界の可能性があるかな、とも思っています。(ストレートプレイ、朗読、ワークショップ、セミナー)○

演劇祭等の開催

演劇祭、映像祭、音楽祭、総合文化祭○

群馬県の「初めての文化体験事業」

群馬県の「初めての文化体験事業」を通し、子供たちに生の演劇に触れてもらう幼稚園保育園などへのショートミュージカルの訪問公演をしていますが、積極的に行っていきたいです。(ミュージカル)○

演劇スタイルの拡張

ストレートプレイだけでなく劇団のスタイルを変える様な変化を模索しております。(ストレートプレイ)○

自粛緩和後のイベントラッシュに向けて準備

来年のオリンピックに向けてこの閉塞感を打破すべく、イベントを欲求する気運が高まると思います。

ライブ、芝居、パフォーマンス、フリマ、セミナー。垣根を超えた大規模な開催が目白押しと予想します。自分は何で対応するか、その焦点の絞りが準備かと考えます。○

観客の要求を再考し、演劇の拡張を

お客様が演劇に何を求めているかを再考し、演劇に持っている力を劇団単体ではなく多くの仲間たちと連携して、様々なアプローチで演劇文化が届けていきたい。(ストレートプレイ)○

自粛緩和後、演劇部の新入生勧誘開始

新入生歓迎期間の活動を開始するつもりです。(ストレートプレイ)○

次回公演に向けてすぐ対応できるよう準備

会場の手配、交渉、宣伝等スピードをもって動き出せるよう確認。SNSにて近況報告。(人形劇、伝統芸能、朗読)○

収束後の公演に向けての会場の予約・確保、劇団員の現状把握、今後の読み合わせや会議をするためのオンライン環境の整備(ストレートプレイ)○

ワークショップ、ショー（インプロ）○

Q7. 今、感じたり、思うことで、伝えたいことがあれば、お聞かせください。

医学的エビデンスを重視した自粛の緩和を

コロナウイルスの正体がなかなか明らかにならない中では、必要な自粛と、やりすぎの自粛があるよう思います。3密を避ける、といっても、家族は3密の宝庫ですし、生活必需品を扱う関係各所も「密」のオンパレード。そんな中にあって、劇場や舞台表現系の動きは、はやくから自粛をしています。実質三月いっぱいは、ギリギリ公演しているところもありましたが、今のところ、映画館や劇場関係から感染者は出ていません。あまり医学的な知識はありませんが、わかり得るエビデンスを元にした場合、自粛の緩和があってもいいようなものにも、社会の監視体制のようなものが強化されていて、不気味な印象をもっています。(ストレートプレイ, 朗読, ワークショップ、セミナー)○

非職業的実演芸術家の多い実状に合わせた文化保護政策を

本来であれば劇場が劇団を組織あるいはフランチャイズし、雇用するという文化やシステムが根付くといい。日本では劇場法が出来たばかりでまだそこに追い付いていない。実演芸術と社会の関係を構築していくには時間がかかるが、翻ってみれば日本は非職業的実演芸術家の多い国でもあるので、そうした特徴からの独自の文化保護の在り方を目指していくのは大切だろう。日本におけるアーツマネジメントはまだ緒に就いたばかりなので。(ストレートプレイ) ○

欧米諸国のようにもっと芸術重視を

芸術は往々にして、特に日本では、生きる為には必要ないと思われがちです。確かに空腹を満たすことは出来ませんが、今のような辛い現実の中において、芸術は、諦めずに明日に向かって生きる勇気を間違いなく与えてくれるものだと思います。欧米諸国のように、日本でももっと芸術が大事にされるべきです。(ストレートプレイ、朗読) ○

劇団内キッズが気がかり

劇団に所属する大人は連絡手段がありますが、キッズは保護者を介しての連絡で本人がどのような状況か分かりません。この長い間稽古ができないのは、劇団結成以来19年間無かったので、キッズの健康状態や個人練習も気がかりですが、大人も含め、家族同然のメンバーにとにかく早く会いたいです。(ミュージカル) ○

新たな演劇活動を見出しつつある—エンタメの火を消さないために

今のこの状況はどうすることも出来ない事だと思います。ただこの状況が新しい演劇の活動を見いだしていることも事実です。プロもアマチュアもエンターテイメントの火を消すことなく、今は自分も含め非常に落ち込んでおりますが、活動を再開出来るようになった際には、たくさん盛り上げて行ける様に勉強をしていきたいですね。(ストレートプレイ) ○

Q7.

表現におけるオンラインとリアルの融合

コロナが収束した後の社会でも、YoutubeやZoomをはじめオンラインでの表現活動が活発になってくると思われるが、それをリアルな場に繋げていく方法も同時に考えていかなければいけないし、逆にホールやライブハウスなどもオンラインと繋がる準備を整えておく必要があると思う。(朗読、演奏、リーディングシアター)○

・プロアマ共に、国内・県内での文化芸術としての立ち位置の向上を

都内で活動している友人たちの公演も軒並み中止。テーマパーク系の子たちも生活できないレベルとの話をよく聞きます。

今回の件でやはり演劇などの芸術文化が「不要不急」の「娯楽」としての認識であることが身にしみて分かりました。

プロアマ共にもっともっと国内や県内での文化芸術としての立ち位置の向上を図っていく必要があり、それが確立されていくほど、今後もし同じようなことが起きた際の負担は減っていくのではないかと思いました。こういった観点からも私はまだ自分の団体以外に群馬県の演劇に携わる皆様との交流がほとんどありませんが、もっともっと交流を深めていけたらとも思いました。(ストレートプレイ、朗読、ミュージカル) ○

青少年の成長をもたらす演劇活動・芸能文化活動

大切なことに改めて気づく機会となりました。演劇活動や芸能文化活動は人とのめぐり逢いをもたらし、より広い世界を感じることで、成長の上で心の糧となり、人生の支えともなり、人生の楽しみを増し、考えを深め、人間を豊かにすると思います。青少年にこのような機会が失われる事無く、再びその機会がやってくることを願い、今はみんなで自粛に協力し合いましょう。(人形劇、伝統芸能、朗読)○

Q7.

今だからこそその学びと情報共有－焼け野原にしないために

今だからこそ学んだり交流出来たり出来る事もあると思うので、なるべくオープンに関わり合い情報を共有しつつ、再び動き出す時には良い意味で今までとはまた違った形で出来たらいいと思います。個人的にはそのための時間にしていきたいです。なのでコロナが理由で途絶えてしまう活動があるとしたらとても残念な事であり、現実的にサポートが必要とされる場所には、然るべき支援が行われるべきだと思います。いざ収束してみたら周りはすっかり焼け野原だった。という事がない事を心から願っています。(即興演劇)○

子どものためにも芸術分野への支援を

芸術分野に対して、未来の子どもたちのためにも、国から、または県や市などから、誠意ある支援を願うばかりです。(ストレートプレイ、人形劇)○

地域の子どもやお客様の笑顔のために

コロナが落ち着いてもお客様が前のように戻っててくれるかの不安はありますが、地域や幼稚園保育園で上演を楽しみってくれている子どもたちやお客様に笑顔になってもらえるような活動を継続していくたいです。(ミュージカル)○

オンラインでカバーしきれない演劇の魅力

演劇が他者との直接的な関わりでできている事。オンラインでも、カバーしきれない部分が大きい事。(ストレートプレイ、朗読)○

演劇・朗読以外の表現者の意見

プロ並びに、演劇以外の表現者のみなさんの「現状報告」の機会も無いようなので、自由回答部分を一部抜粋してご報告します。

データ部分は有効回答103件の中に入っています。

プロ並びに演劇・朗読以外の表現者の意見

プロ劇団

- ・俳優も、培ってきた技術で食うことが出来なければ、それを放棄して別の職業に就くしかない。他の職業と同様に、それは大いなる損失であると言いたい。○

プロオペラ

- ・広告協賛などスポンサー収入が無くなつた（念のため内容確認）○

プロ人形劇

- ・職業劇団なので、自粛と言うより先方からのキャンセル、延期、今年度の予定の見送りがあいついだ。
- ・今年度中に海外劇団の公演手配予定があるが今回のコロナ禍で、資金集めもできなくなつた。そちらへのサポートがあると助かる。○

プロ演芸

- ・感染拡大の防止には喜んで協力します。しかし、それを社会的に要請するのであれば休業補償が必須です。本当に社会にとって必要なことは何かを俯瞰で考えていただきたいですね。○

プロ並びに演劇・朗読以外の表現者の意見

プロスタッフ

- ・「自粛要請」を求められながら十分な支援がない現在の状況では、舞台芸術に関わる人が活動を続けることは難しく、結果、文化そのものが痩せ衰えてしまう。行政は、経済活動と同じレベルで、舞台芸術を守るために支援を積極的にしてほしい。(制作スタッフ)○
- ・フリーランスの仕事だと急なキャンセルの場合%保証がないので今後は内容改定が必要だと思う。県や市でもコロナ終息まで期間だけでも雇用ができる仕組みを早急に考えてもらいたい。(撮影ヘアメイク)○
- ・当方、舞台スタッフは主催者・出演者・公演開催があつて実働できる部門であり、公演がないということは我々の主とする業務が発生しないということになります。従って、収束すればの前提ですが、何を以って公演再開へのきっかけとなるのか、今は静観する以外にありません。(舞台スタッフ)○

プロ並びに演劇・朗読以外の表現者の意見

音楽

・現在は、枝葉であるWebでの配信やレッスンを続けていますが、やはり舞台でのお客様とのリアルなコミュニケーションが私達の根っこです。今度どうやってリアルなコミュニケーションを継続していくのか日々悩んでいます。今回の事態は長期戦になることを予想しています。収束後も、お客様とお客様の距離を開けて座っていただくなど、集客等、苦戦することになると思います。これまでスポンサーになってくださった企業も経済的な打撃を受けており、今まで通りやれるのかとても心配です。○

パフォーマンス

・演劇に限らず、ジャンルの垣根を超えた何か、コラボ等できないか？と思っています。また、各人がたくさん面白い企画を立ち上げていますが、コロナ禍はまだ収束するとは考えにくく、引き続き新しい取り組みがなされる必要があるのを感じます。○

・主に前橋文学館や街なかのカフェ、ライブハウスで行っていましたが、カフェやライブハウスはコロナ禍で非常に苦境に立たされていて、給付金、協力金といった行政の支援があるものの、コロナ禍が長引けば廃業する可能性もあります。そのような文化の交流場所の損失は街の魅力を低減することになるので、懸念しています。また、個人的に案じているのは、地域の伝統芸能(祭り、神楽、獅子舞、歌舞伎等)の活動ができず、伝承が途絶えてしまうことで、ここについては行政がしっかりと支援すべきと思います。仕事として表現活動に従事している方は、給付金等行政支援の対象でしょう。別に仕事をもちつつ表現活動をしている方々(こちらが大半)は、自助努力ではないでしょうか。これまでも表現活動は行政の支援のないところで行われるのが大半でしたし、今は表現活動に対する本気度を試されているように思います。

「読み聞かせ」は、一方的に語るものではありません。

絵本読邊聞かせ十縁に笑方的は騒ひたの驚はありますんライブ感覚を味わうことが、何よりの醍醐味なのです。

そ餘機奪われた縁は笑ひたり嬉びたり驚かぬか子供の本が感覚支株お造反とが様何塵封の醍醐味なめですいることが、残念でなりません。

その機会が奪われただけでなく、始まつばかりの友好的な文化交流がこの様に断ち切られてしまっていることが、残念でなりません。

プロ並びに演劇・朗読以外の表現者の意見

読み聞かせ

・私は、現在、「藤岡リジャイナかけ橋プロジェクト」という活動に関わっています。カナダのリジャイナ市と、絵本を通じての文化交流を目的に設立した団体です。寄付された外国の絵本100冊を使って、これから読み聞かせなどのイベントを企画していた矢先の出来事でした。学校という学びの場が奪われた子どもたちに、何かを届けたいとメンバーで話し合いましたが、まだこれという案は出されていません。「読み聞かせ」は、一方的に語るものではありません。絵本を通して、一緒に笑ったり泣いたり驚いたり、そんなライブ感覚を味わうことが、何よりの醍醐味なのです。その機会が奪われただけでなく、始まつばかりのカナダとの友好的な文化交流がこの様に断ち切られてしまっていることが、残念でなりません。○

ダンス

・みんなやらない方法しか選択をしない。予防しながら行う方向性を探りたい。○

・バレエやスポーツなど広い場所が無ければちゃんとレッスンが出来ない物にはやはり場所と練習をさせて欲しい もちろん最善を尽くした注意を約束した元にであります今この状態は ダンサー達には地獄です。○

プロ並びに演劇・朗読以外の表現者の意見

太鼓

・今まで生きてきたなかで、自分たちの活動する場所を失ったり、集まることを制限されたりすることがなかったので、今回の事を受け止めて、これから活動のやり方や公演の取り組み方を考えなおして、活動していくこうと思っています。○

美術

・資金面での助成はあればいいですが、社会全体が危機的な中で、芸術に大量の予算が回ってくるとは思えません。なので、行政にはお金ではなく、場所の無償提供や技術協力、企業には芸術を巡る金銭を発生させられるコンテンツ作りの協力、私たち芸術人には今ある価値の転換を求められたらいいと思います。○

合唱

・完全休止状態なので収入も支出もない代わりに、指導者(プロ)への謝礼が払えない状況です。○

プロ並びに演劇・朗読以外の表現者の意見

群馬県出身・東京の大学生

・演劇に対して支援が少ないのは、国民による認知の低さにも問題があるため、重要視されていないのだと思います。ドイツのように、政府の人間が、マスメディアで芸術は途絶えさせてはいけないと訴え、商業演劇だけでなく、あらゆる演劇活動を世間一般に普及させることが大切だと思います。いわば、政府による演劇の宣伝です。広く国民全員の意識が強くなれば、それだけ政府は無視できなくなります。演劇は演劇界隈の人間だけが理解できればいいというような風潮が演劇界には残っている気がします。地域の人が、ここで公演されることを知っていますか、地域に劇団があることを知っていますかと聞えば、その答えはごく少数です。これだけ演劇がされている東京でも、演劇のイメージは大きな商業演劇だけです。社会に必要だと、途絶えさせてはいけないと訴えるのならば、こちらから手を伸ばして、重要性必要性を訴え、市民権を得ることも重要なのではないでしょうか。 ○

※アンケート自由記入欄全文は別紙添付にて